

# 子供宝也

No.29

平成 26 年 10 月 8 日  
尼崎市立武庫東小学校 校長 大楠正治

## 平成 26 年度全国学力・学習状況調査の 1

今年度 4 月 22 日、6 年生を対象に実施されました「全国学力・学習状況調査」の概要についてお知らせします。

### 学力調査について

\* 数値は正答率

問 題	全国	兵庫県	本校
国語 A : 基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかを見る問題	72.9	72.9	76.2
国語 B : 基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかを見る問題	55.5	54.6	60.5
算数 A : 基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかを見る問題	78.1	77.7	83.4
算数 B : 基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかを見る問題	58.2	58.4	63.1
平 均	66.2	65.9	70.8

すべての問題において、全国平均を上回っており、日々、子どもたちががんばった成果と喜んでいきます。点数の上下に一喜一憂することは避けるべきではありますが、今回の結果については、素直に喜ぶたいと思います。

しかし、細かく分析してみると、国語では「書くことの領域：例えば、描写の工夫の効果を理解すること」や算数の「図形の領域：例えば、問題を解決するために見通しを立てること」などにやや課題が見られました。これらの課題を常に意識しながら授業を展開する必要がありますし、学年間の系統的な指導が重要であることをあらためて認識しました。

算数 A の正答率が高いのは、非常にうれしいことです。「昼の学習」や「放課後スキルアップ教室」の効果もあるのではないかと考えており、より一層の充実を図りたいと考えています。

夏休みに全教師で、子どもたちと同じ問題に取り組んでみましたが、その時の感想は、「むずかしいっ！！」「何を聞かれてるか、よう読まんとならへん！！」「問題が長すぎる。読み終わるころには前に書かれていたことを忘れてまう。」「解答に字数制限のあるとむずかしい。」「普段は 1 枚もののテストしかせえへんからなあ。」・・・と言った発言が相次ぎました。

そして、今までやってきた授業だけでは、対応が難しいかなと思える問題もあり、「授業そのものの見直しをしなければならない。」とか「朝の読書」はやっぱり大切だ。「文章を書かせる場合、量を増やす必要があるかもしれない。」など、今後の授業改善に向けた意見もたくさん出されました。

次号（同一日に配ります。）では、学習状況調査のうち、平均正答率と関係が見られた項目について、お知らせしています。合わせてご覧ください。